

「水土里の語り部交流会 in 京都」 出演者

氏名 (ふり 名)	所属・職業等	語りの内容
河原 多久雄 (かわはら たくお)	川東土地改良区理事長 農業	「大納言小豆」 大納言小豆は亀岡市馬路町が発祥の地で、他の地域で栽培しても同じものは出来ません。馬路町で大納言小豆を栽培して40年の苦労話などを紹介。栽培成功の秘訣は愛宕山から湧き出す清流にあると自説。
山本 勇 (やまもと いさむ)	農業	「大井川（おおいがわ）と鯉」 松尾神社に五人の神様がいました。そのうち、木股命（きまたのみこと）が横着者で桂川へ流されました。松尾神社の使者である亀に乗って大堰川を上がったが、保津峡の急流で亀が力尽きたため、鯉に乗り換え大井の地に上陸したお話。
亀岡こどもの本 研究会 (代表) 栗山 久枝 (くりやま ひさえ)		「保津の夜明け 角倉了以翁ものがたり」 保津川開削400年を記念した大型紙芝居 京の都へ食料、木材等の物資を水運により搬送するため、多くの人夫を動員し、保津川開削と水運に成功した苦労話を大型紙芝居によって紹介。
黒川 孝宏 (くろかわ たかひろ)	亀岡市文化資料館長	「寅天堰（とらてんぜき）の役割と歴史」 室町時代に築いた寅天堰の歴史や水争い。また、大災害を契機に7井堰を上桂川統合堰に統合され現在に至る維持管理の苦労話などを紹介。
川邊 久留実 (かわべ くるみ)	亀岡子どもの本研究会	「走田（はせだ）の神様」 老百姓夫婦と馬の暮らしの話。嵐により米が不作となり年貢が払えずに庄屋に馬を連れて行かれました。老夫婦は馬の取り返しを走田神社に願ったところ、夜な夜な神馬が老夫婦宅へ通うようになりました。その馬の蹄の跡が農業用水路となったお話。

敬称略・順不同